

スカイフェスティバルIN南陽

競技規定

1. 公認

本大会は JHF ハンググライダー・ルールブックにより実施するものである。

万一、本大会規定、競技規定、およびエリアルールに関する部分以外で不備のあった場合は、JHF ハンググライダー・ルールブックに準ずるものとする。

2. GPS の使用

1)GPS によるフライト記録は JHF ルールブックの規定に従う

2)GPS による採点は JHF ルールブックに規定による

3. タスクコミッティー・セーフティーコミッティー

JHF ハンググライダー・ルールブックに従い、選手の代表を含むタスクコミッティー2 名およびセーフティーコミッティー2 名を設置する。

4. タスクの発表

タスクは競技開始前のブリーフィングで競技委員長が発表及び掲示する

発表する項目は、大会名、実施日、タスク、デパーチャー、パイロン、タスク距離、ミニマム距離、(パイロン)、ゲートオープンタイム(GOT)、ゲートクローズタイム(GCT)、デパーチャーオープンタイム(DOT)、デパーチャークローズタイム(DCT)、タスクフィニッシュタイム(TFT)、タスクレポートタイム(TRT)、インターバルタイム、シリンダーセクターの半径(ターンポイント・スタート)、ゴール方法、GAP パラメーター、本部電話番号、旋回方向指定とする。

5. ミニマム距離

競技成立のミニマム距離は 3000m とする。

6. タスク距離

タスク設定はタスクコミッティーにて設定し競技委員長が決定する。

7. 競技時間

選手は GOT から GCT の間にテイクオフし競技を開始する、尚、GOT 以前及び TFT 以降の競技フライトはできない。ゲートは選手が安全にテイクオフできる場合に限りオープンとする。

8. 競技受付

メインランディング、大会本部(えくぼプラザ)にて初日8時20分、2日目より8時30分から受付開始する。

9. テイクオフ法

1) セットアップゾーン

受付において、大会初日はポイントランキング順にセットアップ場所を決める。以下順位によってセットアップゾーンを決定する、同順位はゼッケン番号順とする。受付け時間に遅刻した選手は、優先順位を放棄したものとす。但し、競技時間等の都合からセットアップゾーンを予め大会本部より指定する場合もある。

2) 機体のセットアップ

受付後、役員の指示に従い山頂へ移動 役員の指示があるまでセットアップをしてはならない。

指示後セットアップを終えた機体は、整然と並べスタンバイゾーンへの通路を空けること。

3) テイクオフ

テイクオフは、西側ランチャー1基と自然斜面2か所合計3箇所を使用する。東側は、ランチャー2基、南側はランチャー1基を使用する。選手は風向きに合わせ場所を選ぶことができる。

十分一 TO は、南テイクオフ2つの列で交互 TO とする。

4) スタンバイゾーン

選手はスタンバイゾーンを通りテイクオフゾーンに入ること。但し、。スタンバイゾーンの定員3名、(十分一 TO2名)全員がテイクオフを拒否した場合は待機できるが定員をオーバーした場合、順次テイクオフゾーンに進まなければならない。スタンバイゾーンの合流点では交互進入とする。

5) テイクオフゾーン

テイクオフゾーンは各テイクオフ定員1名とし、テイクオフゾーンに複数がいなければテイクオフゾーン内であっても待機することができる。但し複数になった時から2分以内にテイクオフしなければならない

米沢エリア(東風時に使用)

TO,ランチャ1基フリーTO もしくはランチオーダー方式を採用ランチオーダーの場合20位~上位にTO する。もしくは参加人数の15%引っくり返しを採用する。(ブリーフィングにて決める)

6) その他

一方のテイクオフをクローズする事がある。優先するテイクオフを定める場合があり、その際はテイクオフディレクターの判断を優先する。

セットアップゾーン、テイクオフゾーンに入ってからキャンセルは移動できれば可能であるが、列の最後尾に廻ること。

アーリーバード一日5名とし朝の受付ミーティング時に希望を募る。希望者多数の場合は抽選にて決める。アーリーバードはゲートオーオープン後プッシュがなければスタートを待つことができるが、選手のプッシュがでた時から速やかにTOルールに従いテイクオフしなければならない。TOができない場合は最後尾に並ばなければならない。

10. スタート方法

スタート方法はシリンダー方式によるインターバルエアスタートとする。また、エア同時スタートを採用する事がある。

11. リフライト

- 1) リフライトは何度行っても良いが、その競技の最終フライトが得点対象となる。
- 2) リフライトする場合はテイクオフ前に GPS トラックログを消去する事。
- 3) リフライト時には、大会本部およびテイクオフ役員にその旨を申告する事。
- 4) セットアップ場所についてはテイクオフ役員の指示に従う。

12. ゴール方法

ゴールは GPS 上の仮想ゴールライン又はゴールシリンダーとする。ゴールには必ずゴール役員を置き、ゴールの確認を行う。ゴールした選手はランディング後ゴール役員に自己申告すること。

13. ターゲット

ターゲット特典は指定円内にランディングした者のみ特典が与えられる。クラッシュ等は原点対象になり得点については大会当日に発表される。

14. ランディング

- 1) 当エリアのランディング場および当日発表されたランディング場をオフィシャルランディング場とし、それ以外はアウトサイドランディングとする。
- 2) 山沈・スタ沈ともにアウトサイドランディングとする。
- 3) アウトサイドランディングした場合、大会規定、エリアルールに従い処理すること。

14. 競技終了報告

その日の競技参加受付を行った選手は、タスクフィニッシュタイムまでに自分が安全に着陸あるいはフライトキャンセルしたことを電話または口頭で大会本部に報告する事

15. タスクレポート(フライトレポート)の提出

1)その日の競技参加受付を行ったすべての選手は、フライトの如何にかかわらずタスクレポートの提出を行わなければならない。ただし、当日競技が本部によりキャンセルされた場合はこの限りではない。

2)その競技の得点を得るためには GPS 及び所定の用紙を大会本部へ提出しなければならない。

16. 時間の計測

1)飛行時間はスタートからゴールまでを計測し秒単位とする

2)スタート時間はインターバルエアスタート時間を採用する

3)GPS 上のゴールシリンダーの場合ゴール時間は GPS 上の仮想ゴールライン又はゴールシリンダーに入った時間とする

17. 距離の測定

1)ゴールした選手の距離はテイクオフから各指定パイロン間、そしてゴールまでを加算した距離とする。

2)タスクを消化できずにメインランディング及びミニマム距離を越えてアウトサイドランディングした選手の距離は、確認された最後のパイロンまでの距離に次のパイロンを結ぶ直線距離から、次のパイロンからベストポジションまでの直線距離を引いたものを加えた距離とする。

18. 得点計算・減点方法

得点計算は JHF ルールブックの定めに従って、GAP2002スコアリングシステムにて行う。集計ソフト、セクターの判定は「FS」及び F1で使用するソフトを採用する。

尚、得点配分はターゲット得点マックス 500 点、距離得点マックス1000点×係数の合計点とします。

グライダー係数は、距離得点のみに反映します。

グライダー係数、シングル機1.47、角付き(オービター、スポーツ2、ソニック、XT、US)など1.34
角付き(ライトスポーツ、ディスクス、マストR、U2)など1.14、角なし1.0、尚、上記に無い機体に関しては競技委員長に相談してください。

ターゲット得点(1m 以内500点、5m 以内400点、10m 以内300点、15m 以内200点、25m 以内100点)

大会規定・競技規定・エリアルールに反する危険行為等を行った選手には大会が定める減点を受け
る場合がある。

19. 回収

基本的に自己回収とする。

21.緊急パラシュート

4ヶ月以内にリパックをしたものを使用すること。

その他

B 級パイロット及び P 証の選手は技能証で定める飛行範囲内でのディスタンス競技とする。

B 級の選手は競技委員の判断により競技をクローズすることがある。